



Pegasus News

Vol. 56

ペガサスニュース

発行人 馬場武彦
発行 社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
http://www.pegasus.or.jp/
編集 ぺがさす広報委員会 編集グループ
編集協力 HIPコーポレーション
発行 / 平成24年4月18日

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成24年4月1日現在

診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土		
午前診 9:00~ 受付 8:30~12:00	内科 循環器科	1診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (内科)	難波雅司 (循環器)	白井直哉 (循環器)	坂本常守 (内科)	田口晴之/島田健永 第1-3-5週/第2-4週 (ともに循環器)	
		2診	平山道彦 (循環器)	永田光里 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	羽野吉弘 (呼吸器)	中西弘毅 (循環器)	羽野吉弘/玉垣学也 第1-3-5週/第2-4週 (ともに呼吸器)	
	消化器科	1診	原 順一	河内屋友宏	真下勝行	原 順一	平田直人	北田拓也 (肝臓病)	
		2診			鏗谷成弘				
	外科	1診	金原 功	埜村真也	豊川貴弘	金原 功	寺岡 均	福岡達成 第1-3週	
		2診			西野裕二	豊川貴弘 (胃ろう外来)		大平雅一 第2-4-5週	
	脳神経 外科	1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制	
		2診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明		
		3診	長岡慎太郎	上坂十四夫	松尾吉紘	松尾吉紘	上坂十四夫		
	(脳)神経 内科	1診	青松宏美	北口正孝	峯田春之	北口正孝	金田明子	濱田征宏	
		2診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進/千本裕子 第1-3週/第2-4-5週	長谷川隆典		
		3診				平賀定一			
整形外科	1診	釜野雅行	山北真也	釜野雅行	山本 研	山北真也	交替制		
	2診	山本 研	岡垣健太郎	田中久夫	篠原良和	岡垣健太郎	岡田充弘 第1-3週		
	3診	田中久夫	岡田 貴		交替制		庄司恭之 第1または、第3週(頭推)		
形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英/矢野 基 交替制		
午後診 14:00~ 受付 13:00~15:00 は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科 循環器科				山下 啓 (不整脈)				
					若山公作/交替制 第1-3-5週/第2-4週 (在宅酸素)				
	(脳)神経内科			北口正孝		北口正孝	長谷川隆典 (頭痛外来)		
				池尻義隆 第2-4週(認知症外来)					
				担当医 (睡眠時無呼吸外来)		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)	担当医 (睡眠時無呼吸外来)		
	整形外科			山北真也				装具外来 (14:00~14:30)	
				岡垣健太郎(関節の外来)					
	泌尿器科								
					野澤昌弘		吉村一宏(診察) 清水信貴(検査)	野澤昌弘	
	ペガサスクリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	担当医
		2診	担当医	戸田千綾	平賀定一	担当医	担当医	担当医	担当医
	ペガサスマイレージクリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00		中林孝之	長谷川隆典	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之
午後診			往診	往診	往診	往診	往診		
馬場満記念クリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00	1診(総合外来)	久保俊彰 (漢方外来)	新田敦範	新田敦範	久保俊彰	千本 裕子	交替制	
	2診(専門外来)	担当医 (脳神経外科)		担当医 (脳神経外科)	山本喜英 (形成外科)	北口正孝 (脳)神経内科)			
夜診 18:00~19:00 受付17:30~19:00		担当医	新田敦範	久保俊彰	新田敦範	担当医			

HEADLINE



1月21日(土)と22日(日)の2日間にわたり、大阪・東京の会場で「日米ジョイントフォーラム2012(主催:社会医療研究所、共催:社会医療法人ペガサス馬場記念病院、一般社団法人日本慢性期医療協会、はあとふるグループ医療法人永広会、株式会社ヘルスケア経営研究所)が開催されました。日米ジョイントフォーラムは我が国の医療の意見番として知られる、社会医療研究所所長・岡田玲一郎先生の企画により開催している講演会です。毎回、米国の第一線で活躍する専門家を招いて講演していただいております。ペガサスはその大阪事務局の役割を担っています。



今回は米国で急増する「長期急性期(LTAC/Long Term Acute Care)病院」がテーマでした。米国では平均在院日数約5日間という「短期急性期(STAC/Short Term Acute Care)病院」の受け皿として長期急性期病院が登場し、有効に医療サービスを提供しています。こうした米国の医療体制に対し、日本では一般病床(急性期・回復期)と療養病床(療養期)という区分になっていますが、医療費の高騰を抑えるために今後さらに一般病床の機能分化が進むと予測されています。フォーラムでは、医療や福祉に携わる方が多く参加し、熱心に耳を傾けていました。ペガサスでは今後も日米ジョイントフォーラムの開催をサポートし、米国の最新医療に学び、日本の医療のあり方を考える機会を提供していきたいと考えています。

「日米ジョイントフォーラム2012」を開催しました。

Report *1

米国の最新医療に学ぶ 有意義な講演会の開催を ペガサスは継続支援しています。

診療所の先生と顔の見える関係を築くために。

Report *2

最新の治療法や新たな 取り組みをご紹介。当院への ご理解を深めていただきました。

当日のプログラム

- 勉強会
ご挨拶
理事長 馬場武彦
馬場記念病院
脳卒中ガイドブックについて
副院長・脳神経外科部長
魏 秀復
下肢閉塞性動脈硬化症の治療
循環器科 部長 山下 啓
下血の鑑別診断
消化器科 部長 原 順一
地域連携パスの運用実績報告
副院長・リハビリテーション科
部長 西尾俊嗣
- 登録医集会
ご挨拶
理事長 馬場武彦
登録医の先生方へのご報告
事務部長 田中恭子
各診療科部長の紹介
- 懇親会

去る2月4日(土)、リーガロイヤルホテル堺4階ロイヤルホールにて、第39回馬場記念病院勉強会、第13回登録医集会懇親会を開催しました。今回もお忙しいなか、多数の登録医の先生方に参加いただきました。勉強会では、理事長 馬場武彦の挨拶の後、当院医師4名による講演を行いました。続いて登録医集会では、当院の実績報告と、各診療科部長をご紹介。プログラム最後の懇親会では、登録医の先生と当院医師・職員との間で活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、講演でも取り上げた『脳卒中のしおり』を会場にも設置し、ご紹介しました。

この『脳卒中のしおり』は、堺市消防局より、脳梗塞の兆しが見えたらすぐに救急車を呼ぶことの重要性を伝えたい、との相談を受け、脳神経外科 魏 秀復医師監修のもと、今年1月に作成したものです。今回初めての試みでしたが、数多くの先生に手に取っていただけました。なお、『脳卒中のしおり』は、院内の待合ロビーや健診室に設置するほか、医事課や在宅サービスセンターでも配布しています。ご希望の方は馬場記念病院 地域医療支援室へお問い合わせください。

急性期病院である馬場記念病院にとつて、地域医療をともに担う診療所との連携は欠かせません。今後さらなる病診連携を深めていきたいと考えています。当院では登録医の先生と顔の見える関係を築くためにも、こうした機会を継続して催していきたいと思っております。

ロイヤルリゾート石津

からのお知らせ

豆まきでご入居者同士の交流を深めました

サービス付き高齢者向け住宅ペガサスロイヤルリゾート石津で、2月3日にエントランスにて豆まきを行いました。鬼に扮したスタッフに促され、ご入居者20名ほどが参加。豆まきは、段ボールでできたスタッフ手作りの鬼の人形の口やお腹に落花生を投げ入れる、という機能訓練も兼ねたもので、参加者は童心に戻って楽しめました。豆まき後は落花生を食べて談笑するご入居者の姿も。今後もこのような季節の催しを企画しております。



※高齢者専用賃貸住宅ペガサスロイヤルリゾート石津は、この度、名称が「サービス付き高齢者向け住宅ペガサスロイヤルリゾート石津」に変更となりました。

ペガサス脳卒中センター ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、脳神経外科の医師とコメディカルとのブレインチームによる「脳卒中センター」、また、外科と消化器科とのチームによる「消化器センター」を設置し、高度な専門治療の提供を行っています。

4月のペガサス合同セミナーは、 4月からどうなる？ ～診療報酬・介護報酬改定～

平成24年4月から病院や介護保険施設の診療報酬・介護報酬がダブル改定となりました。今後の医療保険制度や、介護保険制度の仕組みについて、今回はペガサスセミナー・介護支援セミナー合同でお話しさせていただきます。

講師：石塚尚樹 社会医療法人ペガサス 馬場記念病院 事務部
講師：寺内敦 社会医療法人ペガサス 社会福祉士
日時：4月24日(火) 午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階 ロビー

法人本部からお伝えしたいことがあります。

継続研修でリーダーとしてレベルアップを図りました

ペガサスグループでは2月15日～21日にかけて、リーダークラス、主任クラス、管理職クラスの継続研修を行いました。この研修プログラムは、社会医療研究所所長 岡田玲一郎先生の主導による、各クラス一日半(約10時間)に及ぶ充実した内容のもの。前半は、岡田先生の「新しい時代に入ったペガサス」をテーマとしたレクチャーでは、医療・福祉に精通された内容のお話しとあって、受講者は皆真剣な表情で耳を傾けていました。後半は、各クラスに応じた課題やアンケートに基づく職場風土の判断・指導能力の評価は、職場に戻ってすぐに活用できると好評でした。ペガサスグループでは、現場の最前線にいるスタッフの研修も定期的に行っています。研修により、自分では気づかなかった問題に気づくことで、リーダーとしてレベルアップを図り、より良い病院づくりに貢献していきます。

H25卒看護学生対象 医療体験デイ 就活バージョン開催!

開催日 5月12日(土) 受付時間 12:30～

看護師
求人サイト



看護師
動画サイト



※詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。http://www.pegasus.or.jp/

馬場記念病院からのお知らせ

健診室より

平日の昼間に受診できない方のためにペガサスマンモサンデーとして、毎月第3日曜日と平日は午後7時まで乳がん検診を行っています。撮影は女性の放射線技師が担当しますので、気軽に受診してください。健康のためには疾病の予防と早期発見が大切。定期的に検診を受けましょう。

検査費用

堺市市民検診:視触診・マンモグラフィー併用 ¥900
マンモグラフィーのみ ¥500
(他医療機関で視触診のみ実施された方はマンモグラフィーのみも可能です)
その他の方:¥5,250
『堺市・高石市無料クーポン』が利用できます

※事前のご予約が必要です

予約・問い合わせ ▶ TEL 072-265-6006

Special

馬場記念病院 最前線

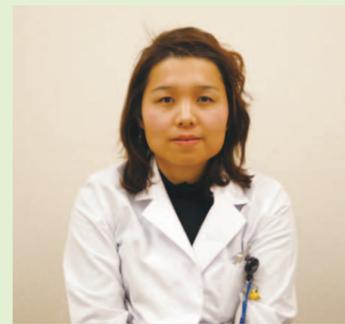
シリーズ
21

栄養部

NST(栄養サポートチーム)の活動から、「食」による健康づくりのご相談まで、幅広い取り組みを実践しています。

多職種のチーム体制で 患者さまの栄養管理を 行います。

入院患者さまの食事づくりから栄養管理を担うのが栄養部です。とくに近年、「栄養状態を良好に保つことが病気の治療や回復に役立つ」との考えから、医療の世界において栄養管理の重要性が再認識されるようになりました。そこで当院では食事や点滴などの栄養管理を、多職種の専門スタッフで行う「栄養サポートチーム(NST)」を設置。平成17年より、チームとして活動を開始し、平成22年からは



入院患者さまの食事づくりから栄養管理を担うのが栄養部です。とくに近年、「栄養状態を良好に保つことが病気の治療や回復に役立つ」との考えから、医療の世界において栄養管理の重要性が再認識されるようになりました。そこで当院では食事や点滴などの栄養管理を、多職種の専門スタッフで行う「栄養サポートチーム(NST)」を設置。平成17年より、チームとして活動を開始し、平成22年からは

栄養状態から食事の 摂取状況まできちんと 把握します。

このNSTにおける栄養士の役割といえば、まず栄養アセスメント(栄養状態の総合評価)を行うことです。入院された患者さまのベッドサイドに伺い、身長や体重、全身の栄養状態を確かめ、各検査データに基づいて栄養管理計画書を作成しています。その際、食事の摂取量を確かめたり、患者さまに直接、摂取状況をヒアリングし、必要な栄養素をきちんと補えるよう正確な栄養

各スタッフの連携で 主治医を側面から 支援します。

一方、サポートチーム全体の活動としては、栄養アセスメントで栄養状態が悪いと判断された患者さま(栄養失調を表すアルブミン値の低い方、褥瘡のある方)について、週2回の検討会を行っています。食事の内容や栄養成分の見直し、補助食品の有無など、広範囲におよぶ栄養管理の内容をチーム全体で検討。NSTのメンバー一人ひとりが専門的な立場から知識や技術を持ち寄り、患者さまに最もふさわしい栄養管理の方針をまとめて主治医に提案しています。スタートから7年、より最適な栄養療法をサポートする組織として機能してきたと感じています。

病態や嗜好、 季節に合わせて献立を 工夫しています。

養状態の把握に努めています。また、アセスメントを行うために栄養士が病棟内を巡回するようになり、医師や看護師から意見を求められる機会が増えたことは、病棟内における栄養士の認知度を高める上で大きくプラスになったと思います。

より多くの皆さまの 食に関する ご相談に応じます。

当院は「地域医療支援病院」に指定されており、栄養部では地域の診療所で栄養指導も行っていきます。生活習慣病や嚥下障害のある方などの食事や形態の工夫、方法について、あるいは健康食品やダイエットに関するご質問・ご相談にも応じています。地域の方を対象に、食に関するセミナーを実施することもあります。

その他にも力を入れているのが、食事づくりです。とくに内科疾患のない患者さまにとつて、入院中の食事は楽しみのひとつ。そこで常食(通常の食事)メニューでは一部、お好きな献立をお選びいただける「選択食」を採用しています。また高血圧や心臓病などの生活習慣病の患者さまには、疾病に合わせて約30種の「治療食」をご用意。それぞれ患者さまの病状などに応じてカロリー調節を行い、食べやすいよう刻んだり、すりつぶしたり形態も細かくアレンジしています。さらに季節ごとに「行事食」も取り入れ、食事制限のある方にも可能な限り喜んでいただけるよう配慮しています。

平成23年度 NSTによるサポート実施者数



馬場記念病院
栄養部
主任 松井理恵

す。病院の栄養部といえば裏方的なイメージをお持ちの方も多いことでしょう。しかし地域医療支援病院の栄養部として、院外での栄養指導にも積極的に携わり、より多くの皆さまのお役に立ちたいと考えています。どうぞお気軽にご相談ください。